

夏秋キャベツ

担当者 技能研究員 泉谷 雅俊

試験課題名	夏秋品種系統選定試験
目的	夏どりキャベツの地域に適応する品種系統の選定をするために比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により安定生産と秋小麦収穫後の生産技術の確立により、経済性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会キャベツ部会

1 供試品種・資材

品種

※ 藍春ゴールド (ノーリン) 涼波 (ホクレン)
北ひかり (ホクレン) YRデライトボール (みかど協和)
00051YR (ノーリン) コールサワー (トーホク)

※基準品種

2 耕種概要

土質～埴壤土

前作～トマト

播種日～6月25日 定植日～7月25日 収穫日～10月2日

栽植密度～畦幅60cm×株間40cm 4,166株/10a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.5	0.060	95.6	50.6	60.0	239.5	10.1

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭カル～0kg 堆肥～1,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基肥～NS604 (16-10-14) 7月24日 全層施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基肥	NS604 100kg	16.0	10.0	14.0
合計		16.0	10.0	14.0

4 調査項目

生育調査～播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・結球期・収穫期・生育日数

収量調査～総重量・調整重・調整率・調整収量・慣行比・規格別割合・障害球

特性調査～球形指数・外観(球形・しまり・色)・食味(硬さ・食感)・糖度(Brix)

5 生育調査

項目	品種	藍春	涼波	北ひかり	YRデライト	00051YR	コール
		ゴールド			ボール		サー
播種日		6月25日					
発芽期		6月29日	6月28日	6月28日	6月28日	6月29日	6月28日
発芽率(%)		60.8	98.6	88.5	89.5	97.6	97.5
定植日		7月25日					
定植時の苗質	葉数(枚)	2.1	2.1	1.9	2.2	1.8	1.7
	葉長(cm)	5.3	4.3	5.2	5.9	5.9	6.1
結球期		9月14日	9月18日	9月14日	9月17日	9月20日	9月17日
収穫期		10月2日					
生育日数		99日					

6 収量調査

項目	品種	藍春	涼波	北ひかり	YRデライト	00051YR	コール
		ゴールド			ボール		サー
総重量(kg/球)		2.4	2.6	2.1	2.4	2.1	2.0
調整重(kg/球)		1.5	1.7	1.6	1.9	1.8	1.4
調整率(%)		62.5	65.3	76.1	79.1	85.7	70.0
調整収量(kg/10a)		6,249	7,082	6,666	7,915	7,499	5,832
慣行比(%)		100	113.3	106.6	126.6	119.9	93.3
規格別割合(%)	6玉以上	50	80	60	90	100	50
	7~8玉	30	20	30	10	0	20
	9玉以下	20	0	10	0	0	30
障害球	生理障害(無0~4多)	0	0	0	0	0	0
	裂球(無0~4多)	0	0	0	1	1	0
	病虫害(無0~4多)	0	0	0	1	1	0

※規格 6玉 1.6kg以上 7~8玉 1.3~1.6kg未満
9~10玉 1.0~1.3kg未満

7 特性調査

項目	品種	藍春	涼波	北ひかり	YRデライト	00051YR	コール
		ゴールド			ボール		サー
球形指数(%)		77.2	88.2	67.9	115.9	113.3	78.5
外観・食味	球形(良5~1不良)	3	4	3	3	3	3
	しまり(良5~1不良)	3	3	2	4	3	2
	色(良5~1不良)	3	3	3	3	3	3
	硬さ(良5~1不良)	3	3	3	3	3	3
	食感(良5~1不良)	3	2	2	4	3	3
糖度(Brix)		5.2	5.6	5.6	5.6	5.6	4.4

8 防除歴

殺虫剤			殺菌剤		
7月25日	オンコルマイクロカプセル	100倍	9月27日	トップジン水和剤	1,000倍
8月10日	オルトラン水和剤	1,000倍			
8月28日	オルトラン水和剤	1,000倍			
9月27日	ハチハチ乳剤	1,000倍			

9 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 育苗は6月25日に128穴セル成型トレーにプラグエースを充填播種し、発芽期は6月28日に涼波・北ひかり・YRデライトボール・コールサワーの出芽が始まり、1日遅れて藍春ゴールド・00051YRとなった。
- ② 発芽率は、涼波が98.6%、北ひかりが88.5%、YRデライトボールが89.5%、00051YRが97.6%、コールサワーが97.5%と高く、藍春ゴールドが60.8%とやや低い結果となった。
- ③ 定植時の苗質調査では、葉数が1.7枚～2.2枚、葉長が4.3cm～6.1cmと多少の差はあったが全品種ほぼ平均的に生育し、7月25日に定植した。
- ④ 結球期は藍春ゴールドと北ひかりが9月14日と一番早く、それにつづいてYRデライトボール・コールサワーが9月17日、涼波が9月18日、00051YRが9月20日となった。

(2) 収量調査

- ① 収穫は10月2日、生育日数は121日となった。球当たり総重量は、涼波が2.6kg、藍春ゴールド・YRデライトボールが2.4kg、北ひかり・00051YRが2.1kgとなり、コールサワーは2.0kgと他品種よりやや低い結果となった。
- ② 調整収量ではYRデライトボール 1.9kg > 00051YR 1.8kg > 涼波 1.7kg > 北ひかり 1.6kg > 藍春ゴールド 1.5kg > コールサワー 1.4kgの順となった。
- ③ 調整後の規格別割合では、6球以上サイズが多かったのは藍春ゴールド・コールサワーの50%、北ひかりで60%、涼波 80%、YRデライトボール 90%、00051YRが100%となった。

(3) 特性調査

- ① 球形指数では、YRデライトボール・00051YRがほぼ球体に近く、他品種は楕円形が多い結果となった。
- ② 外観・食味では藍春ゴールドを基準として、YRデライトボールがほぼ全体的に基準以上という結果となった。
- ③ 糖度では涼波・北ひかり・YRデライトボール・00051YRが5.6度、藍春ゴールドが5.2度、コールサワーが4.4度となった。

(4) 考察

収量は基準品種の藍春ゴールドで調整収量が6,249kgであった。YRデライトボールが7,915kg、00051YRが7,499kg、涼波が7,082kg、北ひかりが6,666kgと高収量であったが、コールサワーでは5,832kgと収量の低い結果となった。規格別割合では全品種が6球以上中心で、外観・食味においては、YRデライトボールで食感が4(良5～不良1)となった。